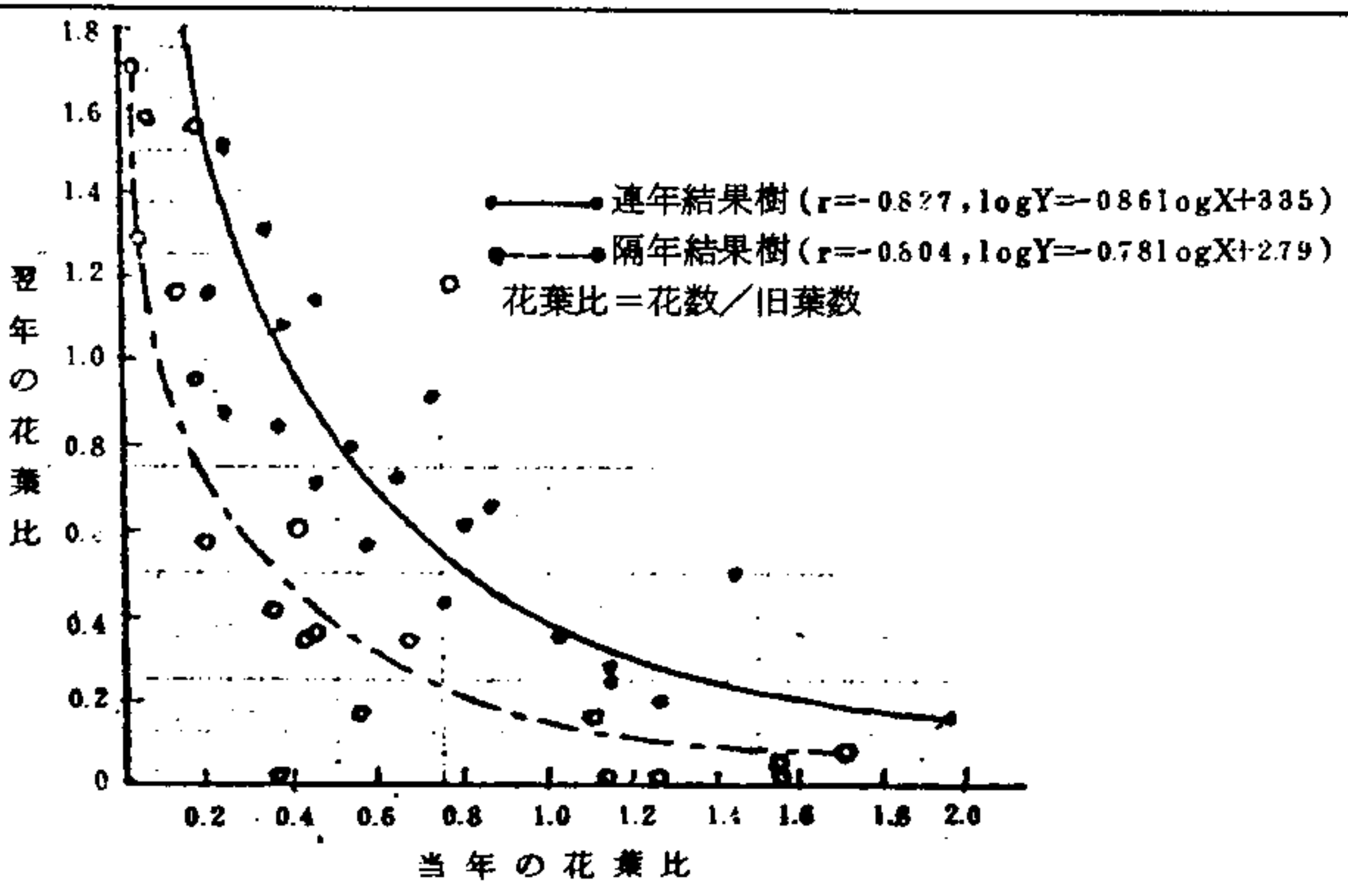


課題名	花葉比と温州みかん高品質果の安定生産
成果の要約	<p>せん定，摘果が慣行で適正な樹では連年花葉比約 0.6 の着花を示した。高品質果実の生産には，花葉比 0.8 以上が必要で，この花葉比を保つには，強摘果が必要なようである。</p>
概 要	<p>高品質果実の安定生産を図るため，当年の着花状態および摘果の程度と翌年の着花の関係を検討した。</p> <p>(1) 当年の花葉比（花数／旧葉数）翌年の花葉比と関係が深く両者の間に負の相関が認められた。</p> <p>(2) 慣行的なせん定（せん除葉率 30% 以下）と摘果（葉果比 25）では，花葉比がほぼ 0.6 で翌年も同じくらいの花葉比となった。</p> <p>(3) 高品質果実の生産には花葉比 0.8 以上が必要なようである。</p> <p>(4) 花葉比 0.8 を連年保つには，葉果比 30 以上の強摘果が必要であった。</p> <p>(5) 花葉比が 1.0 以上になると，葉果比 30 以上の強摘果でも翌年の花葉比は小さかった。</p>

成
績
概
要



第1図 当年と翌年の花葉比の関係

第1表 花葉比および葉果比と翌年の花葉化

花葉比	葉果比			
	1.6~2.0	2.1~2.5	2.6~3.0	3.1~3.5
0.3~0.5	1.17	1.29	0.64	0.89
0.5~0.6	0.63	0.58	0.54	0.75
0.6~0.8	0.59	0.68	0.62	0.74
0.8~1.0	0.21	0.66	0.52	0.90
1.0~1.3	0.23	0.56	0.55	0.54

花葉比 花数 / 旧葉数
 林系13年生, 尾張系18年生(1966年現在)
 1966~1977年間調査

第2表 着花程度と摘果方法

着花程度	花数 / 旧葉数			当年の果実		翌年の着花	摘果方法					最終葉果比	
	旧葉数	新葉数	新葉数	肥大	品質		枝別摘果	全面摘果	摘らい摘花	荒摘果	仕上げ摘果		樹上選果
過多	1.2	2.5	6.8	△	○	中~少	◎	×	○	◎	◎	◎	35~40
多	0.9	2.1	5.0	○	◎	多~中	◎	○	×	◎	◎	○	30~35
中	0.7	1.5	4.0	◎	○	中	×	◎	×	○	◎	○	25~30
少	0.6	1.8	3.5	◎	△	多	○	×	×	△	◎	○	25※
過少	0.4	1.4	3.0	△	△	過多	○	×	×	△	○	○	25※
備考	樹令28年生 実測値			◎	最良		◎	最適		◎	重要		※
				○	良		○	適		○	必要		希望
				△	不良		×	不適		△	不必要		葉果比